



病気や怪我により日常生活に不自由を強いられている皆様方が、入院生活・退院後の生活においても、にこやかに、そして希望をもって自分らしくお過ごしていただけるよう常に真心のこもったリハビリ、皆様のお心に寄り添えるよう日々精進しております。

また入院中の患者様のご家族様におかれましては、リハビリの見学も随時、可能となっておりますのでご相談ください。

【リハビリテーション部の特徴】

●総合医療で幅広くサポート●

当院では、病気・怪我を発症されて間もない時期（急性期）よりご自宅等へ退院されるまで（回復期）、また慢性的な治療が必要な方（維持期）に至るまで幅広くリハビリを提供しています。

●年間 365 日リハビリ提供体制●

年間 365 日、リハビリを必要とされる方へ手厚いリハビリを提供するため、セラピストは合計 40 名（理学療法士 18 名、作業療法士 12 名、ST：9 名、あん摩・マッサージ師：1 名）でリハビリさせて頂いています。

18 名

理学療法士

12 名

作業療法士

9 名

言語聴覚士

●医学的根拠に基づいたリハビリ提供●

リハビリによる機能改善には、質の高いリハビリを十分に提供することが重要とされているが、当院では1日6単位（2時間）を目標にリハビリを提供しています。

過去の1日平均提供数では、急性期：4単位（1時間30分程度）、回復期：6.5単位（2時間以上）提供しています。

●個々人に合わせた生活リハ●

日本特有の家屋環境に近いリハビリ室（畳や脱衣所、キッチン）を完備しており、退院後も安心して生活できるように生活リハビリを実践しています。また自動車運転に対する支援もリハ室内にシュミレーターを導入しサポートしています。

【研修会】

リハビリテーション部では毎月研修会を実施しています。

最新の研究について学んだり、身に着けた技術を教え合うことで、全員のスキルアップを図っています。



理学療法士 18名

脳卒中等により失われた機能を取り戻すため、関節を動かしたり、筋力をつける練習、随意的運動をできるようにする促通訓練、基本的な生活動作（起きる、座る、立つ、歩く）の練習・自立支援、それぞれのご自宅での生活を想定した訓練もしくは、自宅内での動作確認を行います。

治療には体操や運動を利用する運動療法、電気・温熱・寒冷を用いる物理療法があり、また必要に応じてリハビリの時間以外でも自主練習可能な運動を提案させて頂いています。

患者様の機能回復・生活動作獲得に向け、全力で取り組んでいきます。



作業療法士 12名

身体または精神の障害に対し、様々な作業活動を用いて、治療、日常生活動作の練習・指導、在宅復帰や社会復帰へ向けた援助を行います。

発症後、早期から離床を促し、身体の機能訓練や日常生活場面に沿った応用的な動作の練習（食事、更衣、トイレなど）を行い、患者さんに合わせた動作獲得を図り、安全で自立した生活を送れるように援助します。

また退院後の生活を想定し、家事動作の訓練も行います。退院前には自宅の訪問調査を実施し、住宅改修や環境整備への助言や援助、自宅と同じような環境を設定した状態での日常生活動作練習や指導を行い、患者さんやご家族が安全で快適に生活できるように支援します。

近年では移動支援に関する活動にも取り組んでおり、運転に不安を抱えている方やそのご家族から相談を受け、必要に応じて評価やリハビリを行っています。



言語聴覚士 9名

話すことや食べることが上手に行えない方と言語聴覚療法を行っています。現在の主な患者様は、脳卒中後遺症により失語症や発声発語機能低下によるコミュニケーション障害、高次脳機能障害、顔面神経麻痺、摂食嚥下障害などを呈した方です。

～主な対象～

失語症 : 言葉の理解や表現することが難しくなる

発声発語障害 : 呂律がまわらない等、スムーズに話すことが難しくなる

摂食嚥下障害 : 食物を噛んだり飲んだりするときにムセ込む等、食べにくくなる

高次機能障害 : 注意機能、記憶機能等の低下により、日常生活を営むことが困難になる

言語聴覚士は上記の障害の問題の本質を明らかにする為に、各種神経心理学的検査、VF(嚥下造影検査)など他覚的検査を実施し、必要に応じて訓練、指導を行います。

